民報
あばしり
NO.1239
10月20日号
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
TEL 四三-四四五八
F 四三-四四五七

台風19号災害救援募金
被災者への支援を訴える!!

快く募金に応ずる市民がぞくぞくと

台風19号は、東北、関東、信越、東海地方など、12都県での大雨による堤防の決壊は、55河川79カ所に上りました。今回の災害で土砂崩れも発生し、死者75名、行方不明者11名、けが人224人（15日現在）など、広範囲で大きな被害をもたらしました。日本共産党は救援募金を直ちに全国において始めています。

日本共産党網走市委員会は16日の午後、ベーシック駒場店のご協力をいただいて、台風19号で被災した地域への災害救援募金活動を行いました。

「台風19号災害への救援募金をお願いしまーす。」と呼びかけをすると、お店に入る前に募金をする人、入りかけたのに戻ってする人、買い物袋を持ちながらする人、買い物袋をわざわざ置いてする人など市民の関心の高さが感じられました。たくさんの市民の皆さんのご協力をいただき、約1時間あまりの間に4万666円の募金が集まりました。ご協力、ありがとうございました。

引き続き募金活動をして参りますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

土曜日定例の街頭宣伝
紙とも子参議院議員と共に

12日、日本共産党網走市委員会は定例の街頭宣伝を先の参議院選挙で当選した紙智子参議院議員と共に行いました。

紙議員は「10月から始まった消費税10%増税はやめ、5%への減税することが国民への暖かい政策となります。ご一緒に声を上げましょう」と訴えました。

その後、紙議員は網走の捕鯨について、今年7月から始まった商業捕鯨が地域に影響がないか聞き取り調査していました。

捕鯨業者からは目視による鯨の頭数調査を国に実施してほしいとの声がありました。

松浦さとし奮戦メモ!

台風19号で75人を超える方が亡くなり、ご冥福をお祈りし、また、被災された方々にお見舞い申し上げます。

安倍内閣は、軍事費に巨額のお金を使っていますが、いま必要なのは、気候変動に伴う大雨や強風による災害が続いていますので、そこへの支援するべきです。

国の仕事は、国民の暮らしをはじめ生命・財産を守ること。安倍政権は国土強靭化のための政策を進めると言いますが、現実には災害から国土を守るための対策を本格的にしていません。国がいう災害復旧というのは、災害で河川などが決壊した時は現状回復が基本です。そのため、復旧しても同規模の大雨が降ると河川の決壊を繰り返します。これでは、根本的な解決はできません。

自然災害の規模が大きくなっている近年、現状回復ではなく、より強固な復旧対策が必要です。国の自然災害に対する根本的な見直しが必要ではないでしょうか。

村ちゃんが駆ける

朝晩冷え込みが厳しくなりましたね。ストーブを使う時間が長くなり、灯油代が心配な時期に消費税増税、レシートの税額を見て、何でこんなに高いの?改めて増税は間違っていると思うのは私だけだろうか。

90才になる母は美幌の介護施設にお世話になっているが、訪問するたびに介護職員の仕事は大変だと感じていた。でも自分が親のおむつを取り替えるのは嫌だろなと感じていた。先日、その母の世話をする機会があり、実際に母の便を取り替えた時に自分の子どもとさして変わらなかった。「すまんねー」という母。その母に親戚が「おばちゃんがみんな世話していたんだから、当たり前なんだよー」と言っていた。母には長生きしてもらいたいなぁとつくづく思う。介護職員の皆さん、よろしくお願いいたします。

流氷

国民の大多数が反対していた消費税の増税が強行された。友人は「もう生活に必要なものしか買わない」「買わない」運動をしようと怒っている。政府は、消費税収入を社会保障に使うと言います。しかし、消費税導入後やってきたことは社会保障制度の改悪。今回も、消費税とセットで75才以上が加入する後期高齢者医療制度で年金低所得者約378万人に対し、保険料1割の特例を廃止、3割負担に。生活保護の支給基準を引き下げる経済的弱者に対し、冷たい仕打ち。「誰もが安心して暮らせる全世代型社会保障を」とうそぶく安倍首相、一刻も早くやめさせねばならぬ!▼アメリカの経済紙は消費税増税に対し「日本経済を脅かす政策」、アベノミクスを皮肉って「安倍首相は自分の足に矢を射ている」と報道した。追い打ちをかける様に台風が日本列島を次々と襲う。大型で強力な台風19号が、首都圏を直撃、関東、東北、甲信越の広範囲で記録的な豪雨となり、多数の河川が氾濫。多くの家が浸水など甚大な被害の様子がテレビに映し出される。ラグビーでの勝利などと浮かれている場合ではない。総力を挙げて救援、早急な復旧、復興を望む。『喝!!』「消費税増税10%、直ちに中止せよ!!」

アスリート　爺